**「防災研修」開催要項**

研修番号

**８**

１．テーマ

　「被害を最小限にとどめるために

～福祉事業所としての心構えと役割、防災計画・BCPを考える～」

２．講師

跡見学園女子大学　観光コミュニティ学部　コミュニティデザイン学科　教授

一般社団法人　福祉防災コミュニティ協会　代表理事　鍵屋　一　氏

1956年生まれ、秋田県男鹿市出身。東京都板橋区で防災課長、板橋福祉事務所長、福祉部長、危機管理担当部長等を務め、2015年4月から現職。その他、内閣府「災害時要援護者の避難支援に関する検討会委員」、内閣官房地域活性化伝道師、事業継続推進機構理事、災害福祉広域支援ネットワークサンダーバード理事なども務める。自治体の防災対策全般、災害時要援護者支援、福祉施設の事業継続計画（BCP）、地区防災計画などを研究・実践のほか、社会活動や講演活動を積極的に行い、防災・減災活動、危機管理の情報発信を行っている。著書に『図解よくわかる自治体の防災･危機管理のしくみ』2011年8月改訂、『福祉施設の防災マニュアル作成ガイド』など。

３．開催日時及び会場

【日 時】　平成３０年１０月５日（金）　１０：００～１６：００

【会 場】　名古屋市総合社会福祉会館　７階　大会議室

名古屋市北区清水４－１７－１

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

４．定員及び対象者

　　【定 員】　８０名

　　【対象者】　高齢・障害福祉事業所の施設長、管理者等

５．ねらい

現在、南海トラフ地震や豪雨等、災害発生のリスクが高まっています。災害発生時に被害を最小限に抑えられるよう、本研修において、福祉事業所としての防災に関する心構えや発災時の対応、そのほか災害マニュアル・BCPの作成と活用法、そして地域における福祉事業所の役割等を学び、よりよい防災体制の構築を目指します。

６．日 程

9:30 　10:00　　　　　　　　　　　　　　 12:00 　13:00　　　　　　　　　　　　　　　　　16:00

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受付 | 講義「福祉事業所としての防災の心構え」「地域における福祉事業所の役割」 | 昼休憩 | 講義・演習「災害マニュアル、BCPの作成と活用法」「発災時の対応を考える」 |

※開始５分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜、休憩を設けます。

７．申込期限

**平成３０年８月１０日（金）**

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願いします。(<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協　と　在宅福祉部　で検索。

詳細は別紙「申込方法のご案内」をご覧ください。

※８月１７日（金）までに受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をＦＡＸで通知いたします。

８．その他（注意事項等）

（１）受講決定者に対し、事前レポートを設けます。「受講決定のお知らせ（事前レポート）」を受け取った方は、期限までに名古屋市社会福祉協議会　社会福祉研修センターのホームページで、事前課題の回答を入力いただき登録ください。

※詳細は別紙「事前レポート提出方法のご案内」をご覧ください。

（２）研修会場には、受講生用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

（３）講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。

緊急連絡等は会場外でお願いします。

（４）空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。

（５）当日は所属で使用されている名札をお持ちください。